

母乳育児サークルだより 第1回 2004.9.12

～はげましあって楽しく子育て～

設立の目的：はげましあって楽しく子育て

”孤独な母乳育児”への支援、正しい育児情報の提供、交流の場

運営方針：メンバーの意思を尊重しつつ、クリニックが可能な限り援助する

参加資格：子育て真っ最中のかた（母乳・ミルクどちらでも）
子育て経験者、出産予定の方、母乳育児に関心のある方なら誰でもOK

Sさん

現在、2人目妊娠7ヶ月 上の子は9ヶ月

2人目こそ母乳で育てたくて参加。

母乳を搾って、哺乳瓶で与えていた

搾るのが大変 器具などいろいろ使ったが思うように出ない

焦ってばかりでうまくいかず、2ヶ月でほとんどミルクになった
自分の親もミルク育児

pikaさん

上の子は2歳 第2子を1月に出産予定

3日目に出なくなった

混合になったが、哺乳瓶嫌いで受けつけず、苦労した

桶谷式のマッサージなど受けて、3ヶ月から出るように。

母乳育児だったが、もともと小柄なのか体重が増えず、健診で指摘され心配した

momoさん

3歳 下が3ヶ月

1人目は病院でミルクを与えられた

生まれて30分以内に吸わせるなど、知らなかった（あとで知った）

今は完全母乳になり、外出などとてもラク

授乳は1時間おきのこともある

3ヶ月で果汁をあげるものと思って与えてみたが、飲んでくれず困っていたが、本当は必要ないとわかって安心した

らむさん

3人とも母乳育児

1人目は未熟児で生まれて、吸い付きも弱く、母乳を嫌がって苦労した

1ヶ月間だけ（大きくなり力がつくまで）夜はミルクを足した

その後は、母乳のみ

うまくいかないことも多く大変だったが、アドバイスしてくれる友人や母乳育児に肯定的な親類・地域の人に恵まれて、がんばることができた

医学的な理由で母乳をあげたくてもあげられない人もいるので

そういった制限がない自分は、母乳でがんばろうと思った

今度は自分が、母乳育児する人を応援していきたい

ゆきなさん

子ども4ヶ月

黄疸治療などもあり入院中はミルクを足された

1ヶ月で300gしか増えていなかったが、大丈夫と担当医に励まされた

出産前は、産めば自然に出るものと思っていたが、実際には何回あげても泣いてばかりで、周囲にも「母乳が足りてない」などと言われ、つらくなってきた

夜だけミルクを足していたが最近、医師に「足さなくても大丈夫」と言われ信じて、母乳のみにしてみた

2週間ほど経ち、かぜもひいていたせいか体重が増えていないが、元気はある

いおまさん

子どもは1歳

出産直後より、本能的に？「母乳で育てよう」と決心

しかし、実母など周囲の否定的意見が多く大変だった

母も祖母も曾祖母も母乳は出なかったから、あんたも出ないよと言われた

（孫かわいさに、ミルクをやりたがる）

「入浴後は白湯をやらないと」など、昔の育児法を指示された
自宅に帰ったらむしろ静かでリラックスできた

インターネットで母乳に関する情報をいろいろと読んで

自分は間違っていなかったと確信できた

現在は仕事しているため、母乳は夜だけ（土日は1日中）

おっぱいが張るなどということもなく、安定している

ちいさん

WHOの方針でやってくれる産院で出産

順調に母乳育児やれている

体重が増え過ぎかと思うくらい、よく飲んでくれる

ちい父さん

完全母乳なので、授乳に関しては手伝えることがなく

泣かれたときには母親に任せるしかない

今は食べるようになったので、おやつやお茶などで対応できる

寝太郎より

健診では数値を突きつけられるが、そもそも現在の成長曲線はほとんどがミルクで育った人のデータで大きめ。母乳のみで育った人のデータで曲線を作ると、もっと小さめになる。成長曲線の下ラインでも本人が元気なら問題ない。貧しかった時代の育児法、衛生状態の悪かった時代の産褥・新生児管理指導法などを、未だに引きずっている。なんでも大きければよい、早ければよい、というものではない。

編集後記：無事、1回目のサークルが終わりました。お疲れ様でした。参加は7組（母7、父1）でした。みなさん本当に大変な経験をされていることがよく分かりました。

